

平成 29 年度 帰国生徒特別入試

筑波大学人間学群 心理学類

「小論文」問題

試験実施日 平成 29 年 7 月 15 日

実施時間 10:00～12:00

[解答上の注意]

1. 指示があるまで問題冊子を開かないでください。問題冊子 1 部、答案用紙 4 枚、下書き用紙 4 枚が配布されていることを確認してください。
2. 「小論文」の問題は、問題 1（外国語）と問題 2（日本語）から構成されています。
3. 問題 1（外国語）は 2 問、問題 2（日本語）は 2 問あります。解答には指定された答案用紙をそれぞれ使用してください。
4. 下書き用紙に記入された内容は採点の対象とはなりません。解答する際に十分注意してください。
5. 「始め」の合図があったら、4 枚の答案用紙の指定の欄に、受験番号と氏名を忘れずに記入してください。問題冊子は表紙を含めて 5 ページまであります。
6. 不明の点があった時や気分が悪くなった時は、手を挙げて知らせてください。

[答案用紙回収時の注意]

1. 「終了」の合図があったら、ただちに筆記用具を置いてください。監督員の指示に従わない場合は不正行為とみなします。
2. 4 枚の答案用紙を、問題番号順に重ねてください。重ねたまま回収します。
3. 問題冊子と下書き用紙は回収しません。各自持ち帰ってください。

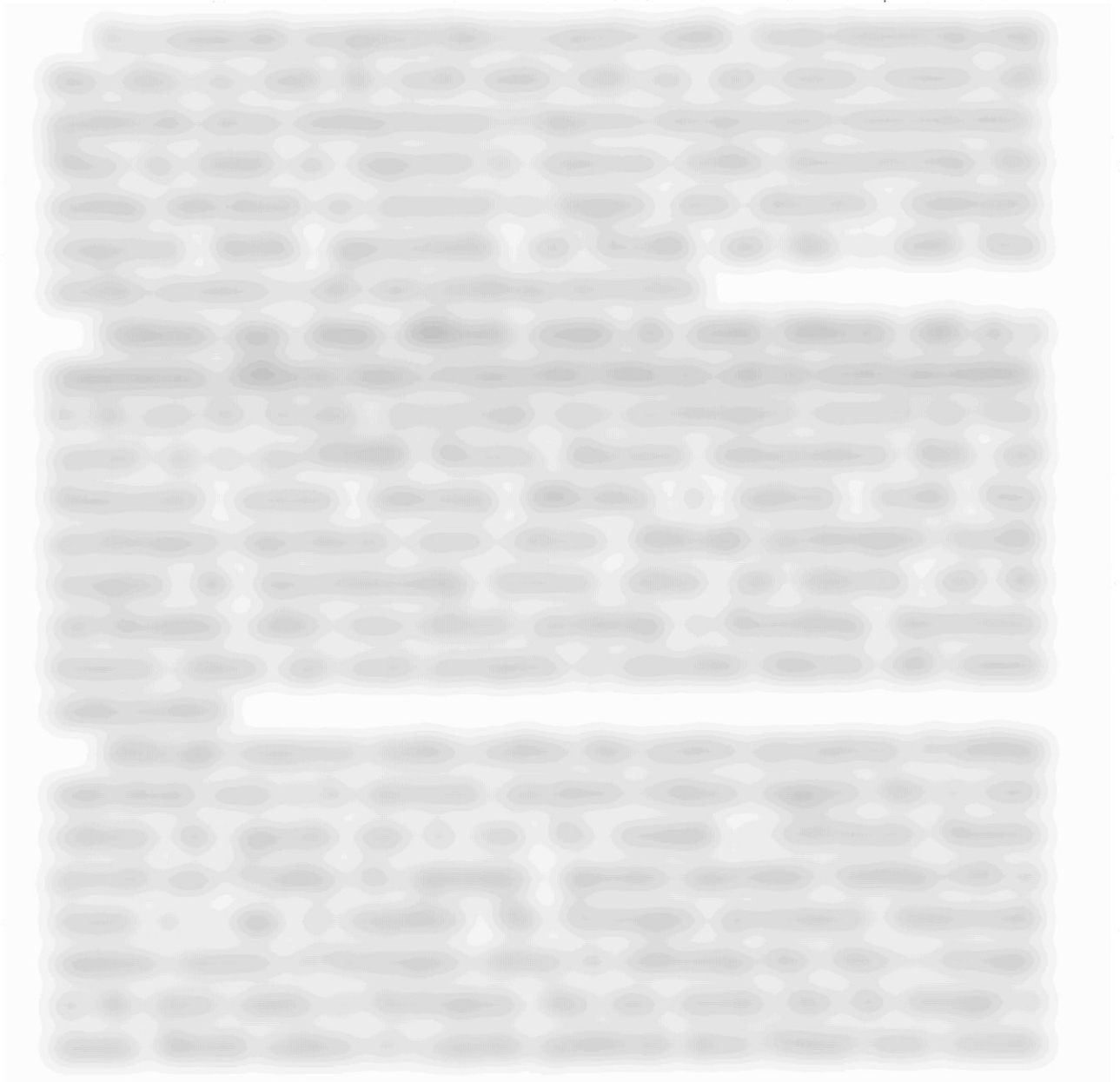
平成 29 年度帰国生徒特別入試 筑波大学人間学群 心理学類

「小論文」問題 1 (外国語)

以下の文章を読んで、次の問 1 と問 2 に日本語で答えなさい。

問 1 本文中で説明されている笑顔 (smiles) のタイプについて 150 字以内で説明しなさい。

問 2 下線部に該当すると思われるあなた自身の経験やあなたが見聞きした例を述べ、日本の文化の特徴について 500 字以内で論じなさい。ただし本文中の例を除く。



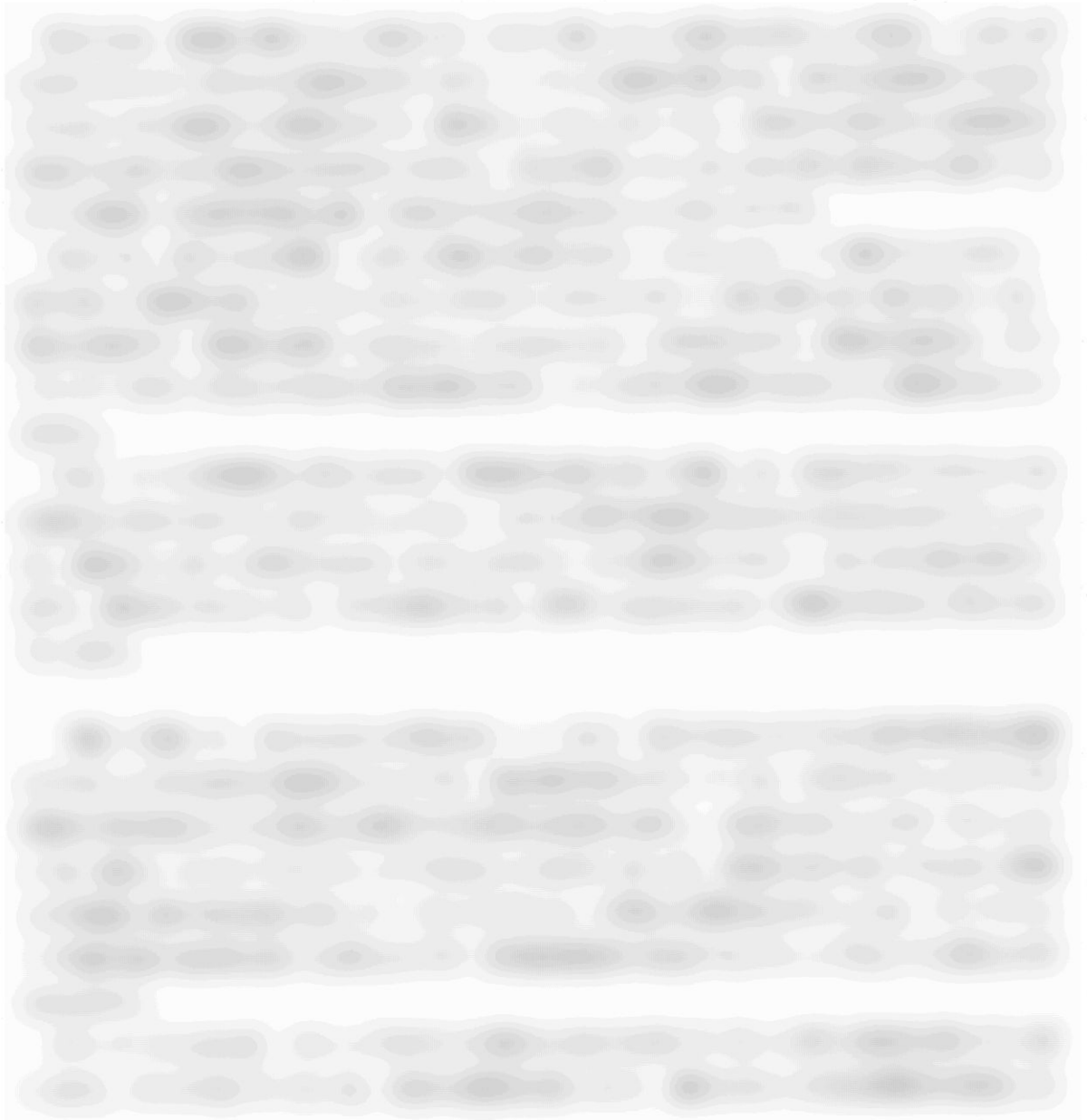


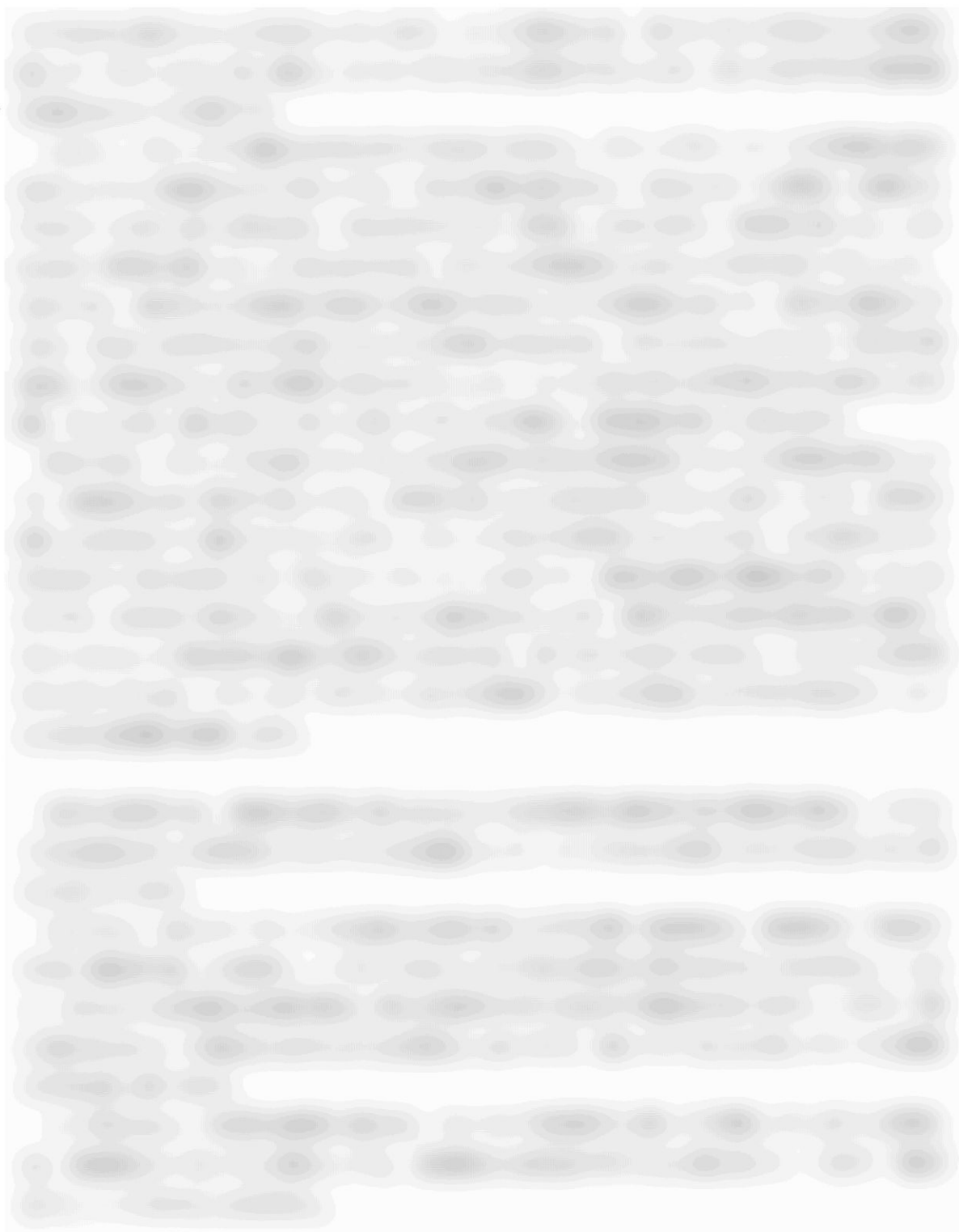
出典 : Krys, K. et al. (2016). Be careful where you smile: Culture shapes judgments of intelligence and honesty of smiling individuals. *Journal of Nonverbal Behavior*, 40, pp. 102-104 から抜粋・改変

平成 29 年度帰国生徒特別入試 筑波大学人間学群 心理学類
「小論文」問題 2（日本語）

以下の文章を読んで、次の問 1 と問 2 に日本語で答えなさい。

- 問 1 「間接互惠性」による援助行動が生じる仕組みについて、筆者の考えを 300 字以内で説明しなさい。
- 問 2 「間接互惠性」は、集団や社会の維持に貢献しうらと思うか、思わないか、あなたの考えを 500 字以内で論述しなさい。





出典：亀田達也（2017）. モラルの起源：実験社会科学からの問い 岩波新書 80～85 ページから抜粋・改変